

えるが、本市の終活支援の取り組み状況を伺う。

健康福祉部調整担当部長

地域包括支援センターと共同で老いじたく講座を開催し、高齢者自らが望む医療やケアについて家族や関係者とあらかじめ話し合うアドバンス・ケア・プランニングへの理解促進や終活の普及啓発を進めている。

議員 横須賀市には低所得で親族等がいらない人の終活支援事業のほか、全市民を

対象とした、死後に生前の希望を実現するために緊急連絡先や遺書の保管場所、寺や墓の情報などを登録できる制度がある。本市もこうしたことに取り組む必要があるのではないかと。

健康福祉部調整担当部長



きらりいのちをめざす
市民派・無所属・れいわ
石井れいこ 議員



子どもを守るため保護者の負担軽減を

身体的・精神的負担や孤立感の軽減に向けたサービス提供に努めている

議員

就学相談で支援学校への就学が望ましいとされた子どもも、希望により通常学級に通うことができる。無意識の差別をなくし多様性の理解につなげるため、このことを通常学級の保護者に伝えてはどうか。

教育長

保護者に多様性の理解を深めてもらうことは重要だ。ご指摘の方法がこれにつながるかは慎重な検討が必要だ。

議員

育児や家事の負担を軽減しなければ子どもと向き合えない保護者もいる。保護者の要望をくみとり、家事援助の初回無料制度や安全性が確認されている。



きらりいのちをめざす
市民派・無所属・れいわ
野村 羊子 議員



税制改正の影響について見解を伺う

自治体サービスに支障が出ないよう財源措置とセットであるべきだ

議員

2025年度税制改正で所得税とともに住民税の控除額が10万円引き上げられることで、住民税非課税を基準としている市の様々なサービスに影響が出ると考える。所見を伺う。

企画部調整担当部長

多くのサービスで受給者等が拡大する一方で、働き控えの解消による税収増も考えられ、影響額の想定は困難だ。

議員

妊産婦や乳幼児への災害時の支援体制について周知が不十分だ。助産院等で専用の避難所を開設した他自治体の先進事例もあり、本市も取り組むべきだ。



自民クラブ
吉野けんさく 議員



住みたいまち三鷹の実現を

駅前再開発とともに、7つの地域でウォーカブルなまちづくりを目指す

議員

昨年、大沢で発生した強盗未遂事件に対応して本市は防犯対策の補助制度を始め、更に令和7年度からは防災安全部を新設する。組織改正の目的を伺う。

市長

災害等非常時の機動的な対応とともに、平時からの防犯や交通安全など安全安心のまちづくり体制の充実強化を目指すものだ。

議員

2023年の都内の犯罪発生率の統計によると本市は市部の中で3番目に低い。治安の良いまちを魅力として発信すべきだ。

市長

治安の良いまちはアピールポイントになる。市民とともに安全なまちづくりを考えていきたい。

議員

市長は三鷹駅前再開発により三鷹の価値を高め

危機管理担当部長

現時点で専用の避難所開設は考えていないが、市内7か所の医療救護所への資機材の配備や助産師会等による支援体制を想定しており、引き続きその周知を図る。

議員

外環道大泉本線でシールドマシン内部の重要な設備であるスクリーコンベアが故障したが、事業者はこれを事故でなく変状と公表した。正確な情報提供を要望すべきではないか。

第三副市長

工事の表現はもとより内容についても市民に正しく分かりやすい説明をするよう申し入れた。



防災安全部は災害対応と防犯、交通安全対策を一体的に推進する



自民クラブ
太田みつこ 議員



未就学児の発達支援体制の拡充を

支援が必要な全てのケースに丁寧で切れ目のない支援を継続していく

議員

未就学児の発達に不安を抱える保護者には初動の対応が重要だ。相談から適切な支援につなげるための体制はどうなっているか。

議員

子ども政策部調整担当部長 子ども発達支援センターの支援決定会議で決めた方針に基づき、一人一人の子どもに合わせた支援を職員が伴走しつつ実施している。

議員

特別支援認定はされなくとも個別対応を要する子どもが増えている中で、幼稚園への支援の拡充が必要と考えるが所見を伺う。



自民クラブ
吉田まさとし 議員



公共施設にテレワークスペース設置を

市民ニーズや民間事業者が運営するスペースの状況等を調査し検討する

議員

コミュニティ・センター等に職住接近のテレワークスペースを確保することで、市民のワーク・ライフ・バランス向上と地域コミュニティ活性化につながるかと考える。所見を伺う。

市長

同様の認識だ。機器設置により他の目的での利用が難しくなる課題はあるが、研究し検討したい。

議員

公共施設のテレワークスペースは、利用者のサードプレイスとしてビジネス交流の場にも発展できると考える。所見を伺う。

その他の質問

自転車安全で適正な利用について



自民クラブ
池田 有也 議員



連雀通り歩道拡幅を都に強く要望せよ

隣接市と連携した要望を行うなど都に対する働き掛けを強化したい

議員

都道である連雀通りの八幡前交差点より西側は歩道が狭く、特に近年はバス営業所が境南町五丁目の営業所へ集約されたことで危険が増している。市の現状認識を伺う。

議員

交通量が多く道路幅員が狭い連雀通りには歩道がない箇所や歩道内の電柱もあり、歩行空間等の確保が必要だと認識している。

議員

八幡前交差点以西の歩道の狭さと危険性の改善について、都への働き掛けを強化すべきではないか。



自民クラブ
加藤こうじ 議員



市内の道路の安全は確保できているか

幹線道路に加え直径2m以上の下水管埋設路線を緊急点検している

議員

道路地中の空洞は重大事故につながる事が八潮市の事故で露見した。市道の地中の空洞についてどのように把握しているか。

市長

バス通りなどを対象に平成30年度から5年に1回、電磁波地中レーダー探査車で空洞の有無や深度等を調査している。事故を踏まえ、直径2m以上の下水道管が埋設された路線も加え緊急点検している。

議員

異変を発見した場合の補修の対応にあたり、専門的な判断が必要になる場

実施しているところだ。